

平成 22 年 2 月 14 日
組織行動分科会 加藤

組織行動分科会議事録

日 時：平成 22 年 2 月 14 日（日）14:00 ～ 17:00

場 所：テクノ菱和 港営業所

参加者：石橋明、茂木真、宇於崎裕美、酒井雄二、加藤豊（記）

（オブザーバー）齊藤、大橋、品田

本日オブザーバーとして齊藤さん、横河マニュファクチャリングの大橋さん、テクノ菱和の品田さんが参加された。

要 旨：今回は、次の内容について議題について議論を行った。

各自 自己紹介

1、 春季江戸川大学公開講座について

江戸川大学サテライトセンター

（事例で学ぶ失敗学）

～事故や不祥事を事例に、その背景要因を検証する～

* 今回から講義を録音し、受講者ならびに組織行動分科会会員に公開するコンテンツとした。

・ 1 月 30 日 講師：石橋明

（航空会社の焦燥が招いた中華航空機名古屋墜落事故）

9 名の参加者があった。応援 茂木さん

・ 2 月 6 日 講師：中田邦臣

（粉飾決済と組織人としての行動—カネボウ事件を事例として—）

11 名の参加者があった、応援 酒井さん、加藤

今後の講義の講義者事前プレゼンテーション確認実施

・ 2 月 20 日 講師：茂木真

（革新的イノベーションを阻む商品開発のパラドックス）

茂木さんより 20 日の講義に対しての説明が行われた。

ソニーのウォークマンやゼロックスのパロアルト研究所などを事例に、イノベーションの阻害要因であるアイデアキラー（独創的アイデアを潰す）抑制の重要性とその方策に関する講義となる。

※話題：ソニーは使う人が楽しめるか、売る人が売るのに楽しいか、開発する人が楽しいか、であれば、開発 OK。

- ・ 2月27日 講師：酒井雄二
（医療事故について考える一薬剤を軸に一）
酒井さんより27日の講義に対しての説明が行われた。
IT化した検索機能の要因による入力ミス、希釈製剤（希釈倍数）の取り違え、各種通達等に関してフォローがない問題、そのほか自由開業制・フリーアクセス・医療機関の蛸壺化などに関する講義となる。

- ・ 3月6日 濱田逸郎
（鳩山政権は成功か失敗か）

- 2、 秋季江戸川大学公開講座について
秋季江戸川大学の公開講座を例年とおりに行う。よって会員より講演者を募る（講演内容、議題も募る）
- 3、 今までの講座の資料のまとめ
次回再度打ち合わせ
- 4、 失敗学会年次大会に向けての組織行動分科会としての研究テーマ
次回再度打ち合わせ
- 5、 ホームページのアップデート
SPYSEE 検索で当分科会議事録が一部確認された。会員外の方もインターネットより閲覧できるようなシステムになっていると思われるため事務局に確認し、次回再度打ち合わせ
- 6、 その他
 - ① 情報：宇於崎さんが2月18日第14回おおた工業フェアのセミナーで「中小企業のための危機管理」の講演をされる。
時間：13:00～16:00、 会費：無料 keiei@pio-ota.jp
 - ② 提案：組織行動分科会の共通テーマでまとめて年次大会で発表してはどうか。
企業（組織合併）の合併による組織行動的な観点での問題提起。
具体的な事例を基に分科会会員でまとめて行ったらどうか。次回再度打ち合わせを行う。
 - ③ 図書紹介

1) 「検察の正義」

郷原信郎

筑摩書房

¥720+税

内容：政治資金問題、被害者、遺族との関係、裁判委員制度、検察審査会
議決による起訴強制などで今大きく揺れ動く「検察の正義」を問い直す。

2) 「Resilience Engineering」

—Concepts and Precepts—

“ERIK HOLLNAGEL DAVID D. WOODS NANCY LEVESON”

④ 次回の組織行動分科会は3月14日 (日)14:00～

テクノ菱和 港営業所にて

- ① 春季江戸川大学公開講座の反省
- ② 秋季江戸川大学公開講座について
- ③ 今までの講座の資料のまとめ
- ④ 失敗学会年次大会に向けての組織行動分科会としての研究テーマ
- ⑤ ホームページのアップデート
- ⑥ その他

⑤ 今後の分科会日程

開催日について（平日夜、土曜日午後）等案が出たが、今回は下記のような
日程で決定した。

場所：テクノ菱和 港営業所にて

3月14日（日）14：00～

4月11日（日）14：00～

5月 9日（日）14：00～

6月13日（日）14：00～

7月11日（日）14：00～

以上